

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2001-42806(P2001-42806A)
【公開日】平成13年2月16日(2001.2.16)
【出願番号】特願2000-8281(P2000-8281)
【国際特許分類第7版】
G 0 9 F 19/14
【F I】
G 0 9 F 19/14

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月27日(2005.6.27)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0019
【補正方法】変更
【補正の内容】

【0019】

【発明の実施の形態】

本発明にかかる印刷用部材の作成を図2を使って具体的に説明する。まず、ポリエチレンテレフタレート、塩化ビニル等の光透過性フィルムの基材205と、画像形成層202として、印刷可能な面を有する紙、フィルムまたはこれらを張り合わせたものを用意する。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0020
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0020】

次に、この紙等の裏面に黒色、暗色もしくは金属色のインクや塗料を塗布するか、または遮光性や反射性を有する紙もしくはフィルムを裏面に貼り付けて不透明層203とし、表面が印刷可能な面で裏面が遮光性もしくは反射性を有するシート材201を形成する(図2(a))。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0028
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0028】

図5(a)では端部のみの粘着層504でガラス507の被接着面に接着させた場合を、図5(b)では端部と端部以外で露出した粘着層504でガラス507の被接着面に接着させた場合を示す。両図において、502は画像形成層、503は不透明層、504は粘着層および505は基材を表す。なお、基材側からローラー等を用いて均一に押しつけることにより、ガラス面と粘着層504がより密着することができ、印刷用部材の接着性が向上する。このようにして、窓ガラス等の外側からは印刷した画像が見えるが、内側からはシート材の残存部分以外の箇所を通して外部が透けて見える一方、画像は見えない状態を形成することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

次に、このA4版の周囲の長辺側の相対する2辺において、1辺当たり5mmの幅を除いた箇所に、カッティングマシンを用いて、それぞれが独立するように、幅1.5mmで帯状の切り込みを粘着層に達しないようにしてシート材を貫通させた。なお、一つの帯状部分と隣接する帯状部分との間隔は1.0mmとした。このようにして、本発明にかかる印刷用部材を作成した。本実施例において、切り込みを設けない周囲の2辺の部分の合計面積は、印刷用部材全体の面積の4.8%であった。なお、切り込みを設けない2辺を除いた部分に対して、帯状部分が粘着層上に残存する面積は59.6%であった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】

従来の一方向可視性印刷用部材を示す断面図である。

【図2】

本発明の印刷用部材を作成する工程を示す断面図である。

【図3】

本発明の印刷用部材の切り込みの一例を示す平面図である。

【図4】

本発明の印刷用部材の別の切り込みの一例を示す平面図である。

【図5】

本発明の印刷用部材をガラス面に接着させた場合の断面図である。

【図6】

本発明の印刷用部材の切り込みの一例の拡大図である。

【図7】

本発明の印刷用部材の切り込みの他の一例の拡大図である。

【符号の説明】

101・・・剥離シート

102・・・接着剤

103・・・暗色の層

104・・・画像

105・・・小孔

106・・・ガラス

201・・・シート材

202・・・画像形成層

203・・・不透明層

204・・・粘着層

205・・・基材

206・・・切り込み

207・・・ガラス

301・・・残存部分

302・・・粘着層が露出する部分

303・・・切り込みを設けない部分

401・・・残存部分

- 4 0 2 . . . 粘着層が露出する部分
- 4 0 3 . . . 切り込みを設けない部分
- 5 0 2 . . . 画像形成層
- 5 0 3 . . . 不透明層
- 5 0 4 . . . 粘着層
- 5 0 5 . . . 基材
- 5 0 7 . . . ガラス
- a . . . 短辺の長さ
- b . . . 延在するハーフカットの長さ
- . . . 角の有する角

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

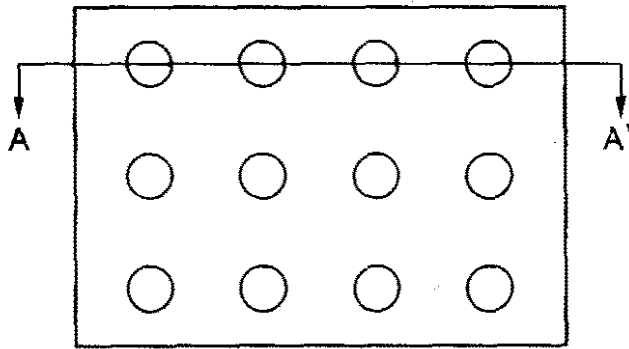
【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

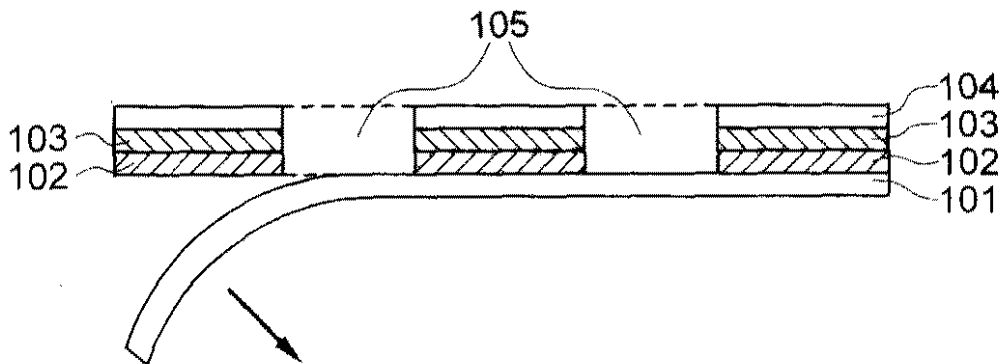
【補正の内容】

【図1】

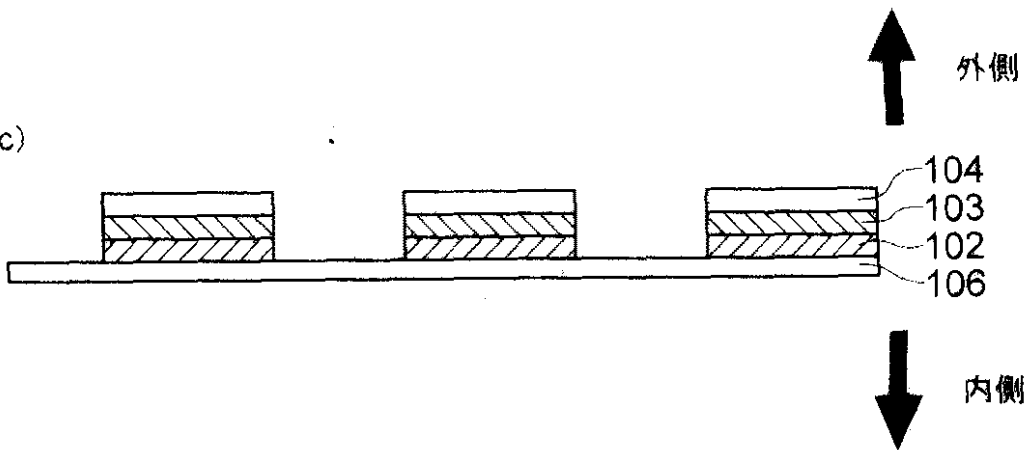
(a)



(b)



(c)



【手続補正 7】

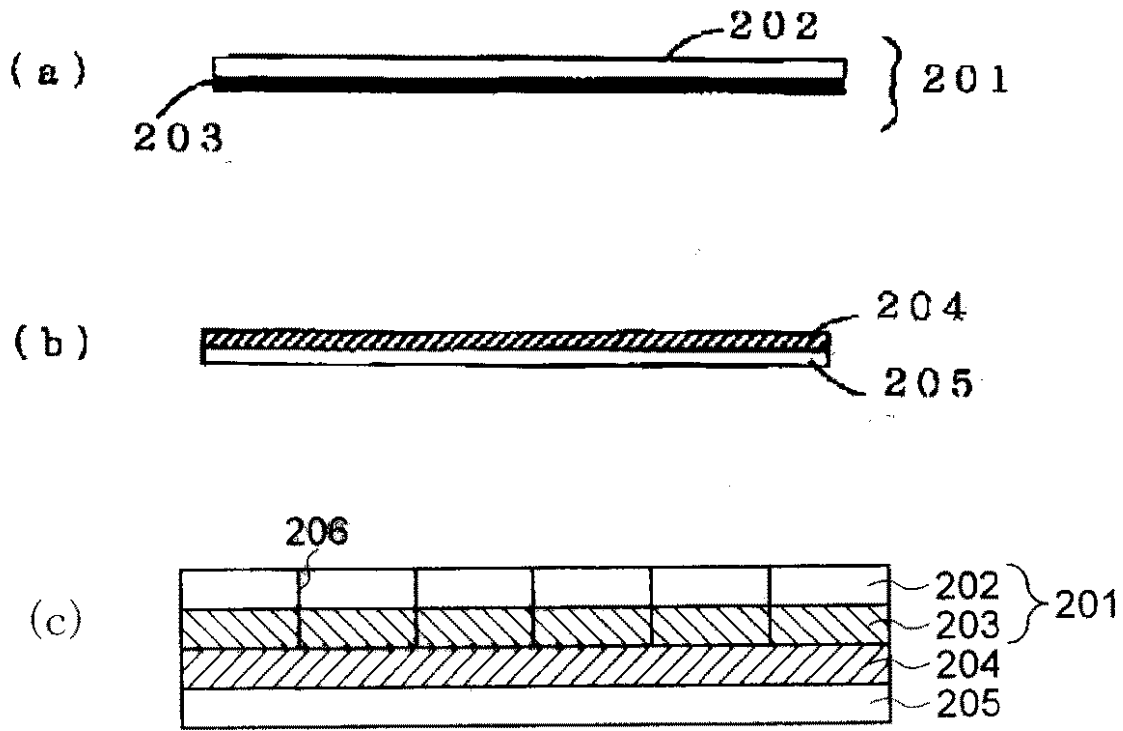
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 8】

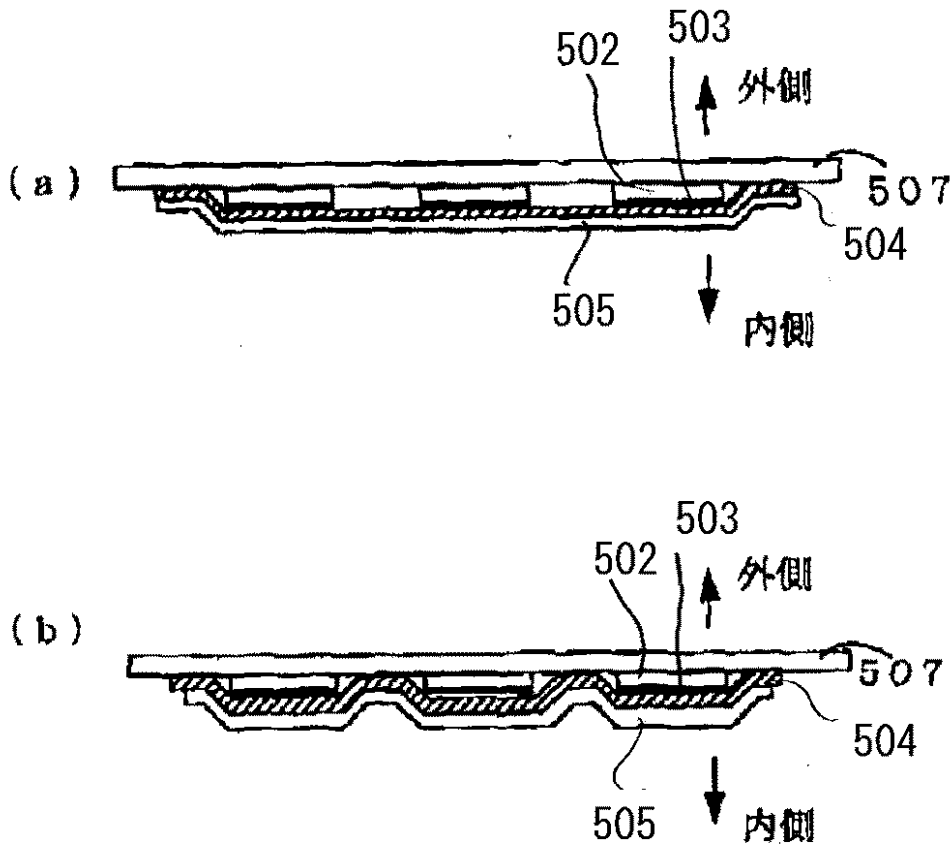
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7】

